

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	JALSG-ALL202-U Maintenance therapy 4 (weeks 36-39, 56-59, 76-79, 96-98)
診療科名	血液腫瘍内科
診療科責任者名	末永 孝生
適応がん種	成人急性リンパ性白血病
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	ALL-042
登録日・更新日	2019年6月25日
削除日	
出典	Blood Cancer Journal (2014) 4, e252
入力者	高松 宏行

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	ピンクリスチン硫酸塩 (オンコピン注射用) 生理食塩液	1mg 100mL	1.5 mg/m ² *1	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	10分	day 1, 8, 15
No.2	ピラルピシン塩酸塩 (テラルピシン注射用) 生理食塩液	10mg 100mL	25 mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	全開	day8
No.3	アスパラギナーゼ (ロイナーゼ注射用5000) 5%ブドウ糖液	5000K.U. 20mL	10000 U/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(筋注)		day1,8,15
No.4	プレドニゾン (プレドニゾン錠)	5mg	40 mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(経口)		day1-14

1コースの期間	28日
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能(1日)・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	開始基準 ANC \geq 500/ μ L PIt \geq 5万/ μ
前投薬	day8 5-HT3拮抗薬
その他の注意事項	*1 最大投与量 2 mg/body 【テラルピシン注射用】 アントラサイクリン系薬剤未治療例で、本剤の総投与量が950mg/m ² (体表面積)を超えると、うつ血性心不全を起こすことが多くなるので十分に注意すること。 前治療等により950mg/m ² 以下の総投与量でもうつ血性心不全が起こることがあるので、他のアントラサイクリン系薬剤等心毒性を有する薬剤による前治療歴のある患者、心臓部あるいは縦隔に放射線療法を受けた患者及び本剤の総投与量が700mg/m ² を超える患者では心機能検査を行い慎重に投与すること。 【ロイナーゼ注射用】 静脈内投与時は、最初に2~5mLの日局注射用水により溶解し、その溶液を更に補液で200~500mLに希釈して使用すること。 筋肉内投与時は、本剤5000K.U.あたり日局注射用水又は5%ブドウ糖液0.5~1.0mLに溶解すること。

記入者	高松 宏行
確認者	成田 健太郎